

活性化モデル商店街の概要

商店街名：稲武商工会

●キャッチフレーズ

買い物・生活・コミュニティに対応できるまち稲武

●活性化モデル商店街としてのモデル性

消費者から信頼され、快適なまちづくりの実現を目指す商店街

◎商店街の将来ビジョン

人口減少や高齢化が急速に進み、店主の高齢化や後継者不足も進展する中で、地元商店街には生活者の利便性向上とコミュニティ機能維持への期待が寄せられていることから、宅配サービス事業や地域バスとのタイアップ事業、イベント事業等の取組を進めている。

今後も地域のニーズに的確に応える取組を通じて、固定客の拡大と新規顧客の開拓を目指す。

- 1 生活者の利便性向上やコミュニティづくりに寄与する商店街
高齢者対策や地域行事、ボランティア活動に積極的に取り組む。
- 2 地域に密着し、信頼される商店街
定期的に顧客と顔を合わせる仕組みをつくることで、既存顧客の離反を防止する。
さらに住民の集まる場所にPRしに行くことで、新規顧客の開拓につなげていく。

◎具体的に取組む事業内容

○高齢者・障害者等対応事業

- ・宅配事業を中心に、高齢者の買い物支援システムを推進する（いなぶのお買い物配達便）（26年度～）
- ・常備品箱設置事業（26年度～）
- ・老人クラブや集会所への移動販売の実験（27年度～）